

臨床研究情報

【研究課題名】

化学療法と免疫チェックポイント阻害薬の併用療法後に再発した小細胞肺癌に対するアムルビシン単剤療法の観察研究

【研究機関】

大阪赤十字病院、がん研究会有明病院（その他複数機関）

【研究責任者】

当院責任者 大阪赤十字病院 呼吸器内科：植松 慎矢

研究代表者 がん研究会有明病院 呼吸器内科：西尾 誠人

【研究の目的】

実臨床における、化学療法(chemotherapy; chemo)と免疫チェックポイント阻害薬(immune-checkpoint inhibitor ; ICI)併用療法後の再発小細胞肺癌に対するアムルビシン(AMR)単剤療法の効果および安全性に関して検討する。

【研究の方法】

・対象

がん研究会有明病院、大阪赤十字病院と共同研究機関において小細胞肺癌と診断された患者で、2019年7月以降に初回化学療法が導入された患者

・方法

後向き観察研究、多施設共同研究

・利用する情報

研究対象者について、下記の臨床情報を電子カルテより取得する。

年齢、性別、Performance Status、喫煙歴、既往歴、病期、血液データ、画像所見、病理結果、前治療歴、治療効果、毒性

・外部への試料・情報の提供方法

調査項目は匿名化し電子媒体（Excel ファイル）に転記する。共同研究機関の調査項目も匿名化し電子媒体（Excel ファイル）に転記し、各施設代表者が大阪赤十字病院の研究事務局の植松慎矢に印刷したデータを郵送にて譲渡する。解析は大阪赤十字病院の研究事務局の植松慎矢が行う。

【個人情報の取り扱い】

上記参照

【問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪赤十字病院 呼吸器内科部：植松 慎矢
〒543-8555 大阪市天王寺区筆ヶ崎町 5-30
TEL 06-6774-5111 FAX 06-6774-5131